

製品名: アネキシン VII ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06928**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	ANXA7
別名	ANXA7; ANX7; SNX; OK/SW-cl.95; Annexin A7; Annexin VII; Annexin-7; Synexin
遺伝子 ID	310.0
SwissProt ID	P20073
免疫原	抗血清はヒト ANXA7 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

背景

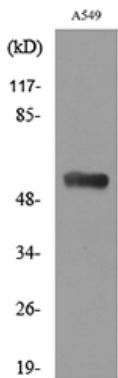
アネキシン VII は、カルシウム依存性リン脂質結合タンパク質のアネキシンファミリーのメンバーです。アネキシン VII 遺伝子は 14

のエクソンから成り、約 34 kb の DNA にわたります。選択的スプライシングを受けたカセット エクソンによって、2.0 kb と 2.4 kb の 2 つの mRNA 転写産物が生成され、N 末端ドメインが異なる 2 つのタンパク質アイソフォームが生成されると予測されます。選択的スプライシングは組織特異的で、カセット エクソンを含む mRNA は、脳、心臓、骨格筋に多く見られます。転写産物は、2 つの選択的ポリ (A) シグナルの使用により、3' 非コード領域でも異なります。アネキシン VII は、分子量約 51 kDa のタンパク質をコードし、167 アミノ酸からなる独自の高度に疎水性の N 末端ドメインと、299 アミノ酸からなる保存された C 末端領域を持ちます。ドメインの構造解析：一対のアネキシンリピートが、カルシウムとリン脂質の結合部位を形成する可能性がある。機能：膜融合を促進し、エキソサイトーシスに参与するカルシウム/リン脂質結合タンパク質。類似性：アネキシンファミリーに属する。類似性：4 つのアネキシンリピートを含む。組織特異性：アイソフォーム 1 は脳、心臓、骨格筋で発現する。アイソフォーム 2 は肝臓、肺、腎臓、脾臓、線維芽細胞、胎盤でより多く発現する。

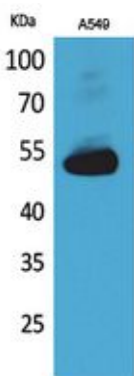
研究分野

シグナル伝達

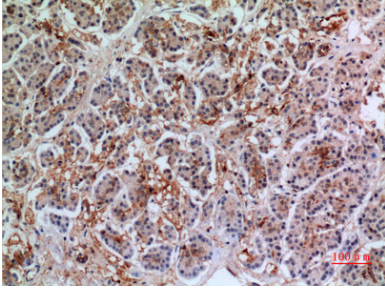
画像データ



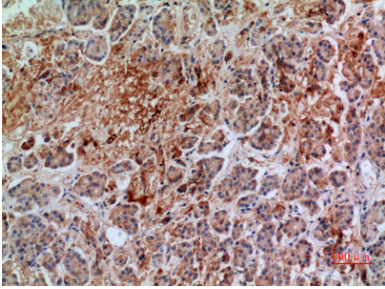
ANXA7 抗体を使用した A549 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



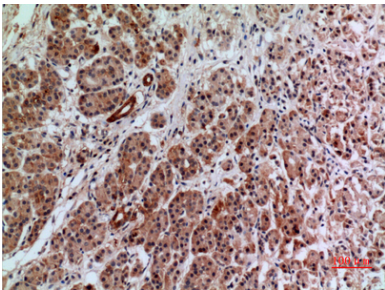
アネキシン VII ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト膵臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト膵臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト膵臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された